

序 言

福岡空港の総合的な調査とは

福岡空港は、平成14年12月の国の交通政策審議会答申において、将来的に需給が逼迫する等の事態が予想され、将来にわたって国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮しうよう、各種方策について幅広い合意形成を図りつつ、国と地域が連携し、総合的な調査を進めることとされました。

これを受け、国、福岡県、福岡市は平成15年7月に福岡空港調査連絡調整会議を設け、協力しながら調査を行っています。

調査に当たっては、広くみなさまに内容や進め方をお知らせするとともに、ご意見をいただきながら進めていくこととしています。(このことを、パブリックインボルブメント(PI)といいます。)

順々に段階を踏んで検討を進め、各段階ごとにPIを行います。

みなさまにとってわかりやすく、また意見を出しやすいように、4つのステップを踏んで課題や解決方法の検討を行い、そのステップごとにPIをします。このPIレポート(ステップ1)はこれまでに実施した調査結果をもとにみなさまに情報提供をするためにとりまとめられたものです。

調査結果の一層の理解のためPIレポートをお届けします。

このPIレポートは「わかりやすく記述する」ことを念頭におきつつも、空港という専門の施設であるため、みなさまにはなじみの薄い専門的な内容を含んでおりますが、できるだけ多くのご意見等に対してお答えできるよう、適切な資料を幅広く提供できるよう努めています。

このPIレポートについては、調査結果の一層の理解のため、PI期間中において、県内の各所で、説明会、オープンハウスなどを開催し、内容のご説明を行います。ぜひ、ご来場ください。

最後になりますが、このレポートが福岡空港の将来を考えていただくときにみなさまの理解の一助になることを期待しています。

福岡空港調査連絡調整会議

1. ステップ1で知っていただきたいこと

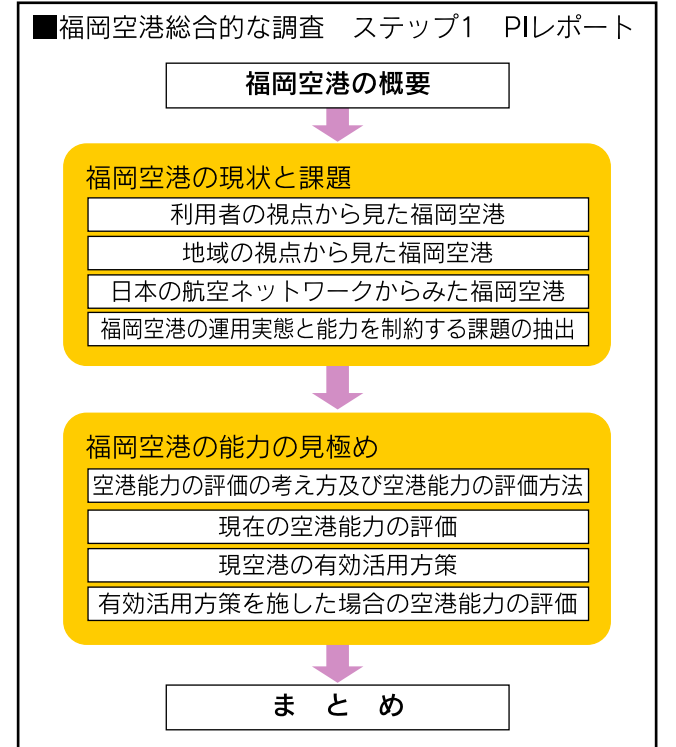
1) 今回ステップでの位置づけ・役割と次回ステップとの関わり

「福岡空港は、どのように使われ、どんな問題があるのか」、「あとどのくらい旅客や貨物を受け入れることができるのか」などについて、理解を深めます。

具体的には、福岡空港の現状と課題に関して、次の視点から考察を進めます。

利用者から見た福岡空港はどうか、地域から、国全体から見た福岡空港の位置づけはどうか、福岡空港の運用の状況等を主として定量的な手法による分析を通じて福岡空港の状況について考察します。

次に、福岡空港の能力の見極めに関して、空港の能力とは一体どのようにしてあらわされ、それが利用者から見てどのように映るのかなどの検討を通じて、福岡空港の現状における能力評価について考察します。



そして、このステップで深められた福岡空港の現状と課題について、さらに次のステップで「福岡の将来の姿をどのように考えるのか、また、そのとき空港の役割はどうなるのか」、「将来空港利用者はどのくらい増えるのか」等といった将来の航空需要や福岡空港の将来像についての課題の検討に繋がっていきます。

■福岡空港PIステップの全体構成とステップ1の位置

